エヴェレスト・Mt.Everest

松井 恒雄

エヴェレスト・Mt. Everest

チョモランマ(ChomoLungma・チベット)・珠穆朗瑪峰(中国)・サガルマータ(Sagarmatha (ネパール)。ネパールと中国チベット自治区との境。ヒマラヤとクーンブ山群の核心部。世界の最高峰で標高8848m。カトマンズの東北東約165km、ラサの西南西約450km。山姿はピラミット型をなし、チベット側の北壁はロンブー氷河、東壁はカンシェン氷河、ネパール側の南西壁はクーンブ氷河に落ち、ほとんど石灰岩よりなる。

この山を登ろうという計画はすでに19世紀末からあったが、チベットもネパールも国を閉ざしていたため、その機会がやってくるのは第一次大戦が終わってからである。1921年イギリスのアルパイン・クラブと王立地理学協会はチベット当局から許可を得て、最初の偵察隊(C. K. ハワード=ベリー隊長)をダージリンから送り出した。東面と北面が探検され、最後にロンプー・シャール(東)氷河からG. マロリー・G. パロック・E. ウィーラーがチャンーラに達し、北東稜にルートを見出した。それ以後、幾度も果敢でねばり強い挑戦の後1953年J. ハント隊長率いるイギリス登山隊によって初登頂された。第一次隊のR. エヴァンスとT. ボーディロンは5月26日に南峰に到達し、第二次隊のE. ヒラリーとシェルパのテンジン=ノルゲイが5月29日に登頂。1956年スイス隊が第二登しその後続々と各国が挑戦し登頂した。

I 各方面から見えるエヴェレスト ネパール



1924年使用のエヴェレストを 描いた最初のシール

1960年発行



南峰とサウスコル

1968年発行



ナムチャバザールからの エヴェレスト(国王の顔の左 側に望める)

ネパール





エヴェレストとギザのピラミット (ネパール・エジプト国交50年)

2009年発行

ネパールの地図とエヴェレスト

ネパール 1959年発行



クンプー氷河とエヴェレスト) (サウスコルに向かうルート) 国際連合 1992年発行





エヴェレスト(世界遺産)

1960年発行

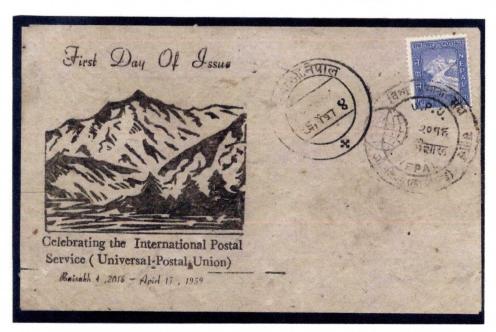


僧院と子供と背景にエヴェレスト (子供の日)

スリランカ 2007年発行



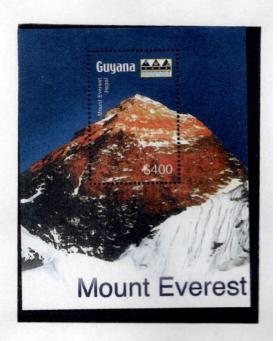
スリ・バーダ山とエヴェレスト (ネパール・スリランカ外交関係50年)



17. 4. '59, Celebrathing the international Postal Service-U, P. U

2002年発行 ガイアナ





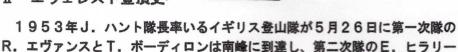
ネパール 収入印紙の印面図案にエヴェレストを使用している





エヴェレストの山頂のネパールの国旗

Ⅱ エヴェレスト登頂史



とテンジン=ノルゲイが5月29日に初登頂。1956年スイス隊が第二登し その後各国が挑戦し登頂した。

その後各国が挑戦し登頂した。

インド

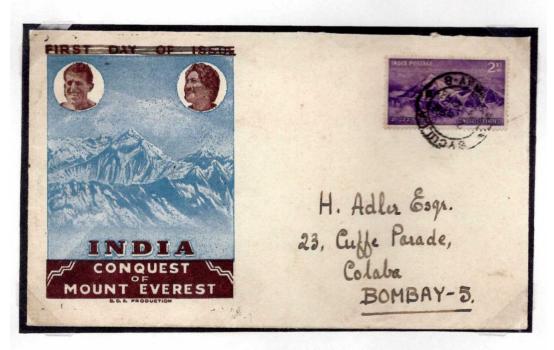
エヴェレスト初登頂記念

1953年発行





インド航空隊がイギリス隊の登頂後南方ネパールから写したエヴェレスト



Bombayあての実逓便(カッセにエヴェレストと登頂した二人の肖像)

中国・日本・ネパール三国聯合隊

登頂記念



登頂隊員のサイン入り記念カバー(1983年発行のチョモランマ北面の切手を貼って 1988. 5. 5の日付押印)

Ⅲ エヴェレスト巻頂者たち

*エドモンド・パーシヴァル・ヒラリー (1919~2008) 1919年ニュージランドのオークランドで生まれた。1939年登山を始め、1951年イギリスの探検隊に参加。1953年5月29日シェルパのテンジンとエヴェレストに初登頂。

ルーマニア 1985年発行



モナコ 2003年発行



エドモント・ヒラリーと背景にエヴェレスト

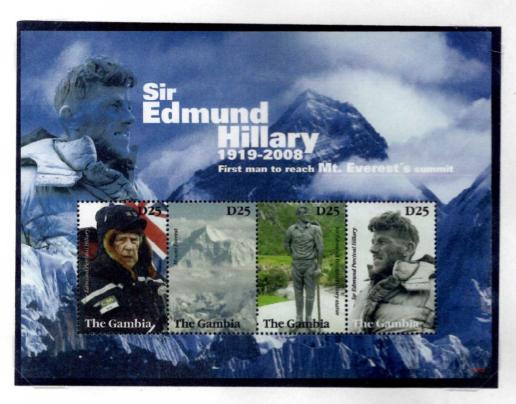
ギニアピサウ 2008年発行

エドモント・ヒラリー追悼記念



肖像とエヴェレストの地図とピックフット。ヒマラヤン・トラストの病院施設 前の人々と赤十字の旗。勉強する女の子の背景に建物と赤十字機。肖像と山頂 での写真。タブ2枚に肖像。サガルマータ国立公園は世界遺産(1979) ガンビア 2008年発行

エドモンド・ヒラリー追悼



ヒラリーの肖像・エヴェレスト・銅像・ヒラリーの肖像シート地にエヴェレストとヒラリーの肖像

ネパール 2003年発行



パサン・ラム・シェルパとエヴェレスト ネパール女性として初登頂

2010発行



ペンバ・ドマ・シェルパの肖像 (ネパール女性として3人目の登頂者)